

3-10

夢幻追従

(DISCOVER DREAM)

夢の具現化

アクティビティ（活動）

特別養護老人ホーム 成蹊園 せいけいえん

介護課リーダー 矢島 悦子

東京都青梅市今井 1-521-1

TEL : 0428-32-7220

FAX : 0428-32-7230

今回の発表の施設
またはサービスの
概要 10p

当施設は山紫水明の地、青梅市の北東部、圏央道青梅 IC から 10 分程に位置し、美しい緑の森と近くには霞川も流れ、ゆるやかな南傾斜地という、恵まれた環境にある施設で、現在、160 名の利用者の方が生活されております。

〈取り組んだ課題〉

- 平成 14 年の敬老の日、「来年は、利用者全員の夢の具現化に向けて走ります」という、施設長の言葉で始まった。そして、明けて平成 15 年度「夢幻追従 (DISCOVER DREAM)」が動き出した。職員間においても半信半疑で、多くの心配はあったが、担当として付き添った職員、一人ひとりが真剣に、正面から向き合った。それぞれの家族との関わりを通じて、利用者は自分自身の置かれている位置付け、人となりを見つめ直すことにもなった。
- 私達の高齢者意識のなかに、ともすると「これは無理だろう、食べられないだろう、危険だろう」と勝手に判断し、大事をとるためと称し、利用者の活動を制限してはいないか。
- 今回、実践した方々は、私たちの潜在観念を見事に覆してくれた。自分が望んで、自身が求めて発信した行為に不可能ということはないのである。利用者は感激を、職員は感動を、この実践を通して体感できた。

〈具体的な取り組み〉

- 対象者は全員であるが、優先順位としては早急に実践したほうが良いと思われる方から実施。
- 健康面と心理面の維持・管理。
- 手順としては、まずは本人の叶えたい夢（希望）を伺う。その夢を叶えるべく家族の協力も依頼する。
- 実践当日に直接関わる職員は、担当の他、必要に応じて運転手、看護師など。
- 施設内や日帰り、または宿泊と多岐に涉った。
- 担当した職員が「夢紀行」として文章化し、編集委員会が冊子にまとめる。
- 「夢紀行」の冊子を利用者・家族に差し上げる。

〈活動の成果と評価〉

- 平成 15 年度、16 年度
実施人数 125 名、125 件
付き添い 家族・職員 59 件、職員のみ 66 件
実施内容 自宅、墓参り 16 件、花見 5 件、
美味しい物 16 件、観劇 4 件 etc
- 健康面から臥床時間が長く経管栄養の方で、自宅に帰って「仏壇に手を合わせたい」、という夢を叶えた職員が感動を覚え、涙が出た。振り向くと同行していた看護師もまた涙していた。
- 大雨による土砂崩れがあり通行止めのところを警備員に事情を話して自宅にたどり着く。自宅につくと「ここは俺の家だ。上がってゆっくりしてくれ」と言いながら、いつも座っていた家長の席に腰をおろし、『主(あるじ)』としての『存在感』がそこにはあった。

〈今後の課題〉

- 平成 15 年から 2 か年計画で取り組んだが、160 名全員を 2 ヶ年で実施することは困難を要した。夏・冬と梅雨の時期を極力外すと、実施できる期間は限られてしまう。また、逝く方、来る方で未実施の方が増えていく。平成 17 年度も継続したが、今後も引き続き可能性と必要性によって全利用者の夢を叶え続けていきたい。終わりはないのである。

〈参考資料など〉

- 平成 15 年度、平成 16 年度
「夢幻追従 (DISCOVER DREAM)」夢紀行
(非売品)